



# CFPの数字がもたらすインパクト

---

## 循環型リサイクルポリエチレン袋

---

2023年3月

東京吉岡株式会社

## 会社概要

会社設立：1964年12月  
主要得意先：アパレル企業、アパレル小売企業

## 取り扱い商品

アパレル  
副資材

ブランドネーム



ブランド下札



RFID



品質表示ネーム



袋



パッケージ

販促  
ツール

カタログ



フライヤー



POP



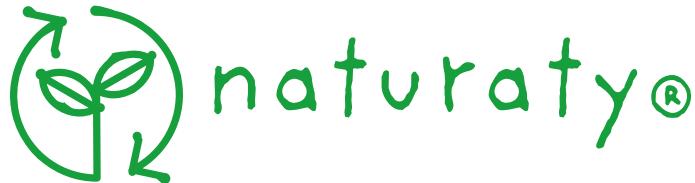
ショッパー



ノベルティ

## サステナビリティの取り組み

2019年の自社展示会から商品バリエーションの拡充を始め、  
取り組み全体に「naturaty (ナチュラティ)」という商標を取得  
現在はリサイクル/紙素材/バイオマス/生分解など、40種類以上のアイテムを揃える



## 環境省CFPモデル事業の対象商品選定

上記取り組みの中でリサイクルポリエチレン袋が最も効果的にCO<sub>2</sub>を削減すると考え、  
それを更に製品→回収→製品と「循環型リサイクル」する製品を実現  
またCFP算定の推進を検討する中で「循環型リサイクル」の袋において  
環境省のモデル事業に参画し、本格的なCFP算定の第一歩となる

## 算定対象商品

**循環型リサイクルポリエチレン袋**  
（製造、物流、保管の工程で  
商品をホコリや汚れから守る透明袋）

主素材：低密度ポリエチレン(LDPE)  
サイズ：280×385+40mm  
算定単位：1,000枚



閉じた状態



印刷部分をミシン目で  
切り取り開けた状態

衣類などを店頭に出す際  
ミシン目で切り離して  
製品を取り出す  
(実用新案取得済み)

切り取った印刷、  
テープ部分は廃棄

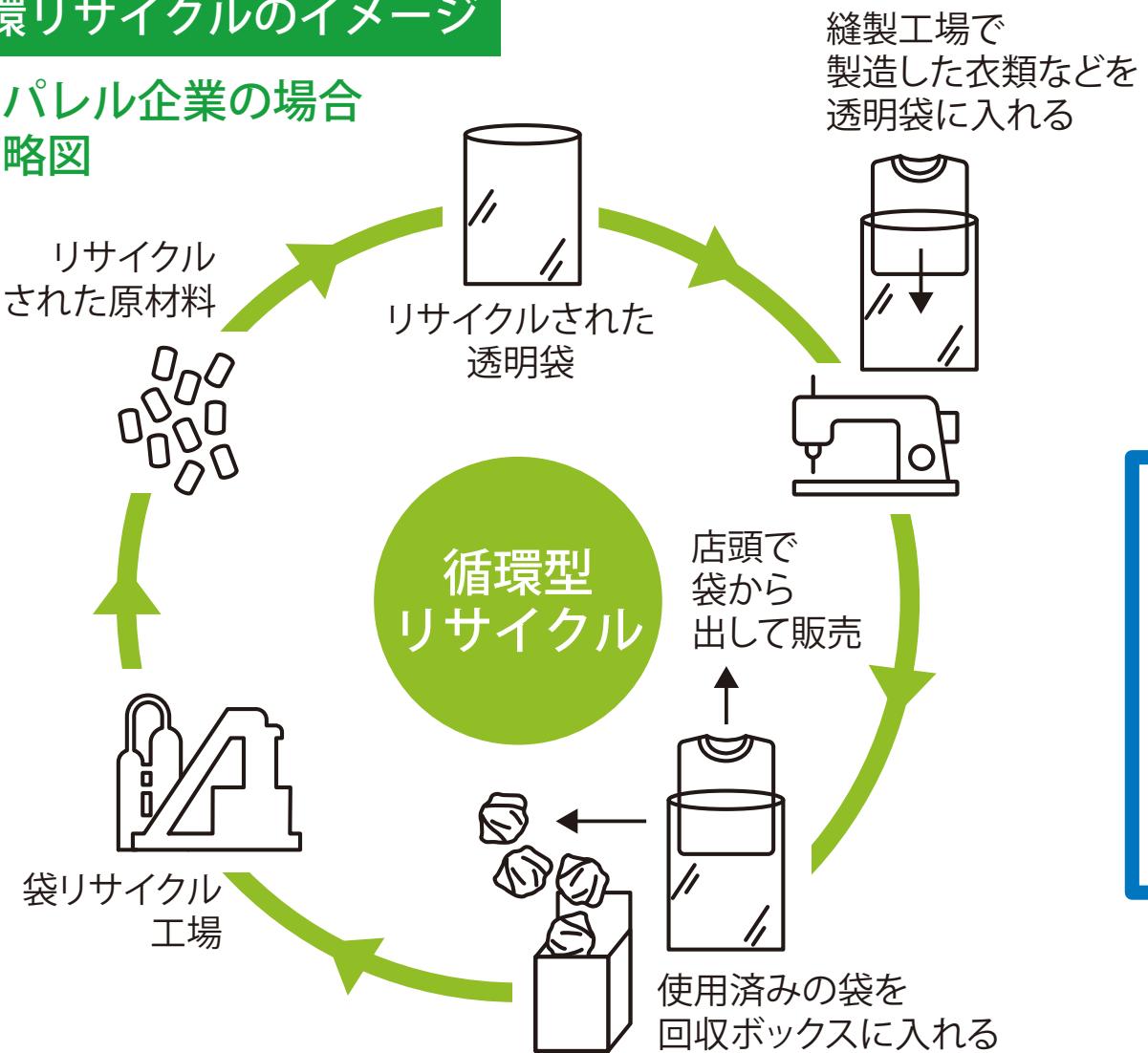
それ以外の透明部分  
は回収・リサイクル  
して繰り返し  
透明袋として納品

印刷・テープなしで  
100%循環リサイクルも可能

## 循環リサイクルのイメージ

※アパレル企業の場合

※簡略図



リサイクルされた透明袋  
を縫製工場に納品

縫製工場の製造段階で  
衣類を透明袋に入れる

衣類を店頭で袋から出して販売

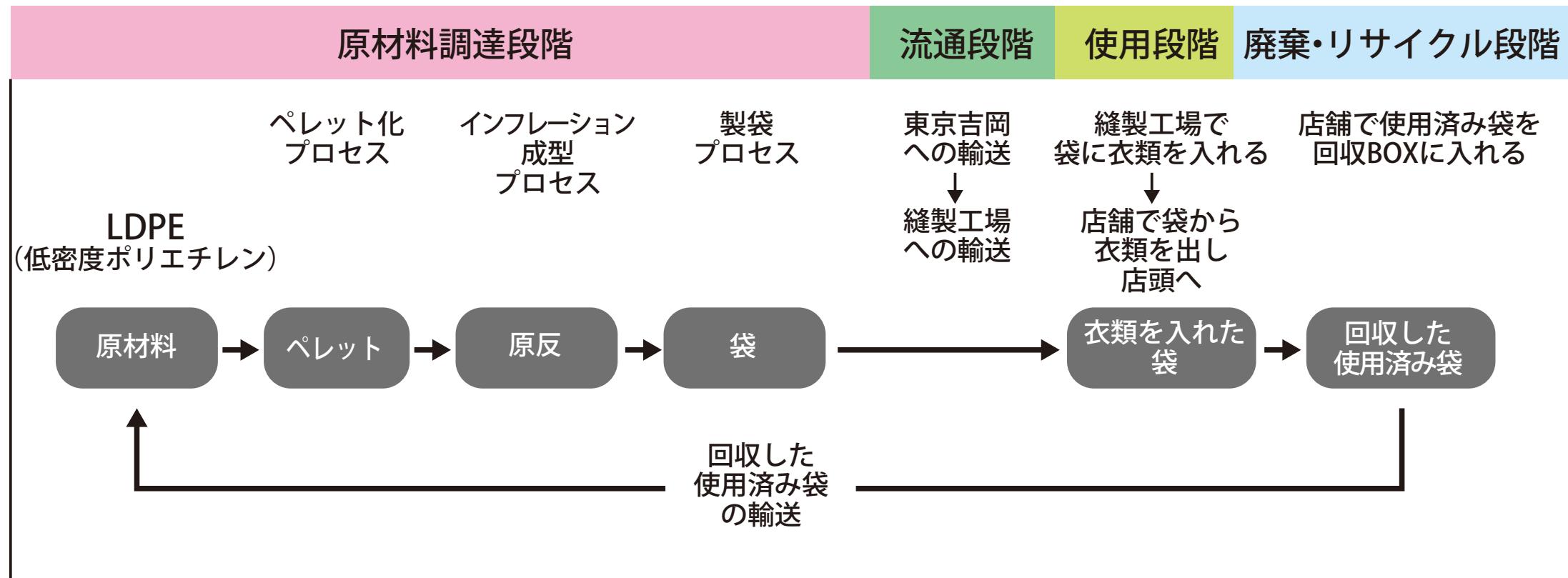
従来、使用済み袋は  
ゴミとなり廃棄・焼却

使用済み袋を  
回収・リサイクルして  
繰り返し利用すること  
による循環型リサイクル

## CFP算定：1

### ライフサイクルフロー

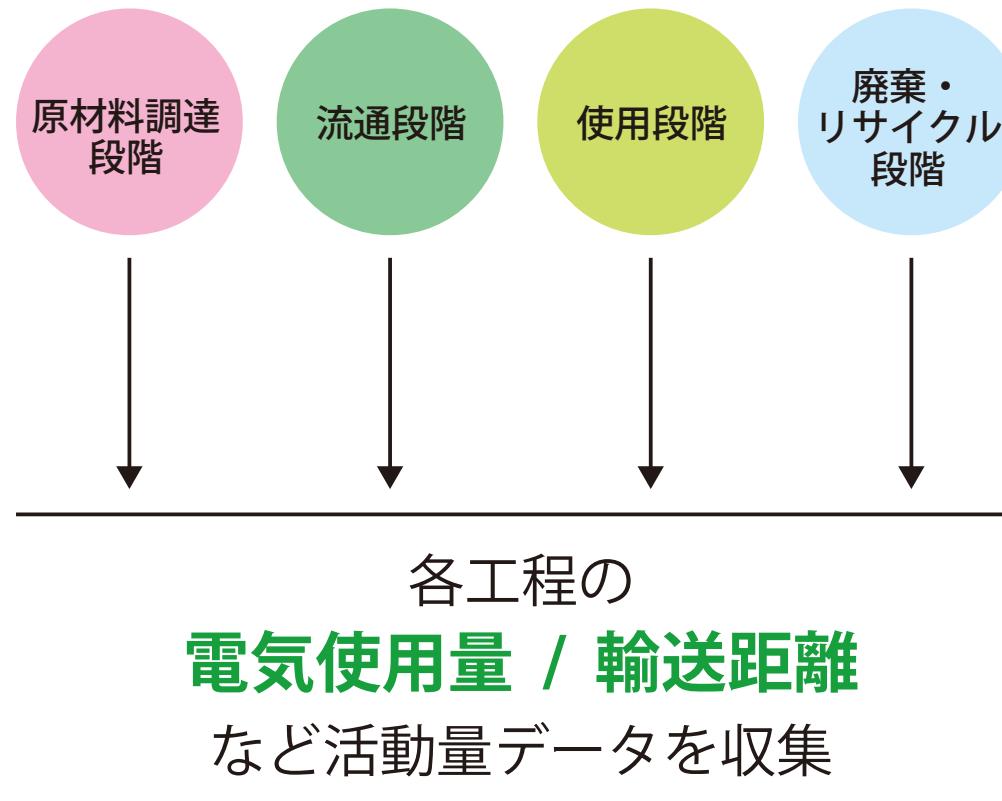
製品のライフサイクルを段階ごとに書き出す  
 ※生産段階は東京吉岡を主体として原材料調達段階に含む  
 ※簡略図



## CFP算定：2

## 算定手順書

## ISO14067を援用してCFP算定のルールを策定



データ取得が困難な場合に  
シナリオを設定

- ▶ 実測値が取得困難な電力は  
機械の規格値を使用
- ▶ 拠点を決定できない輸送は  
平均距離を使用

CFPの影響は小さいと  
推定されるものの、  
データが収集できず  
妥当なシナリオが設定できない  
場合のカットオフ基準

- ▶ 重量比で5%以下の部素材
- ▶ 電力を使用しない人力による作業
- ▶ 東京吉岡の管理外となる輸送

CFP算定：3  
計算シート

算定手順書の活動量データをもとに

「IDEA Ver.3.1 / 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門」

「環境省排出原単位データベース」

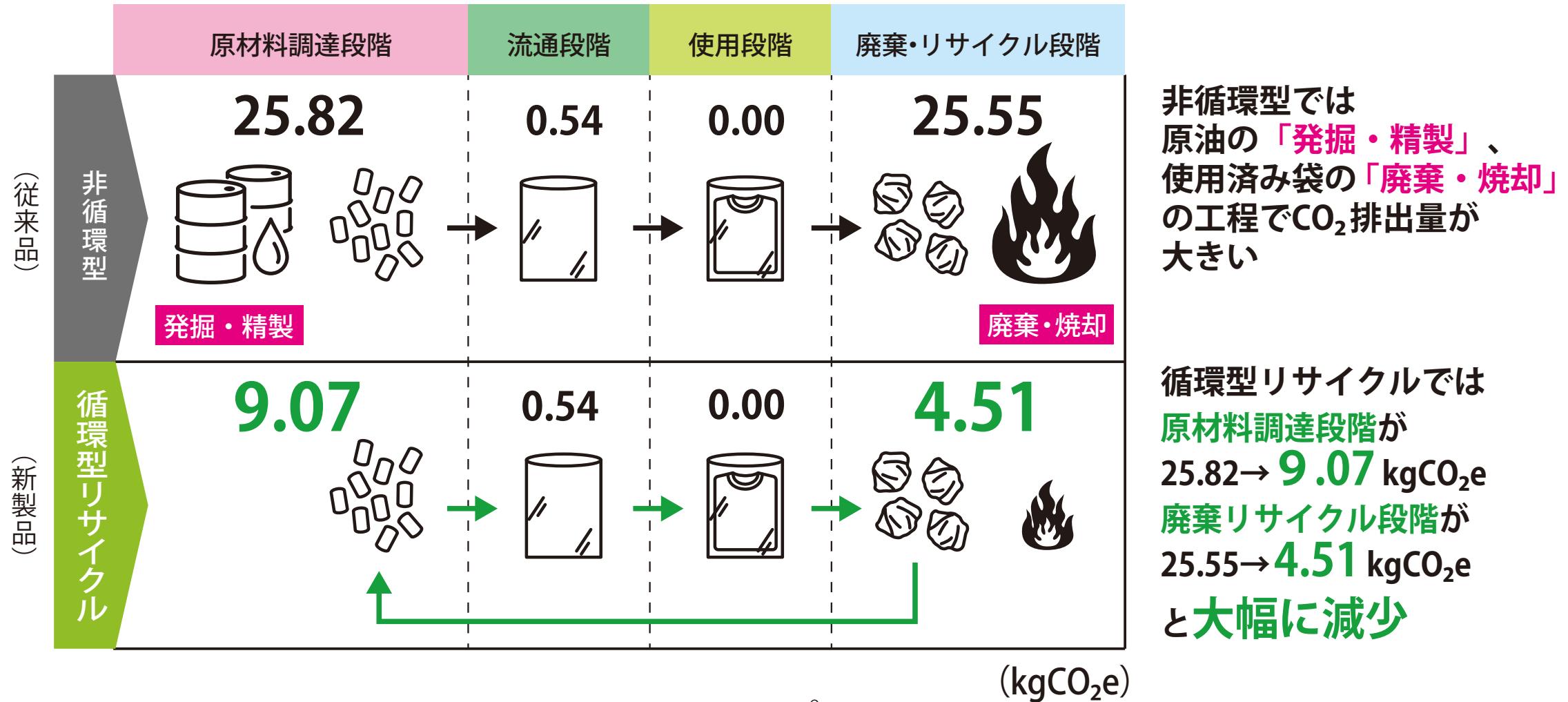
の原単位を使用してCO<sub>2</sub>排出量を算定



## CFP算定：4

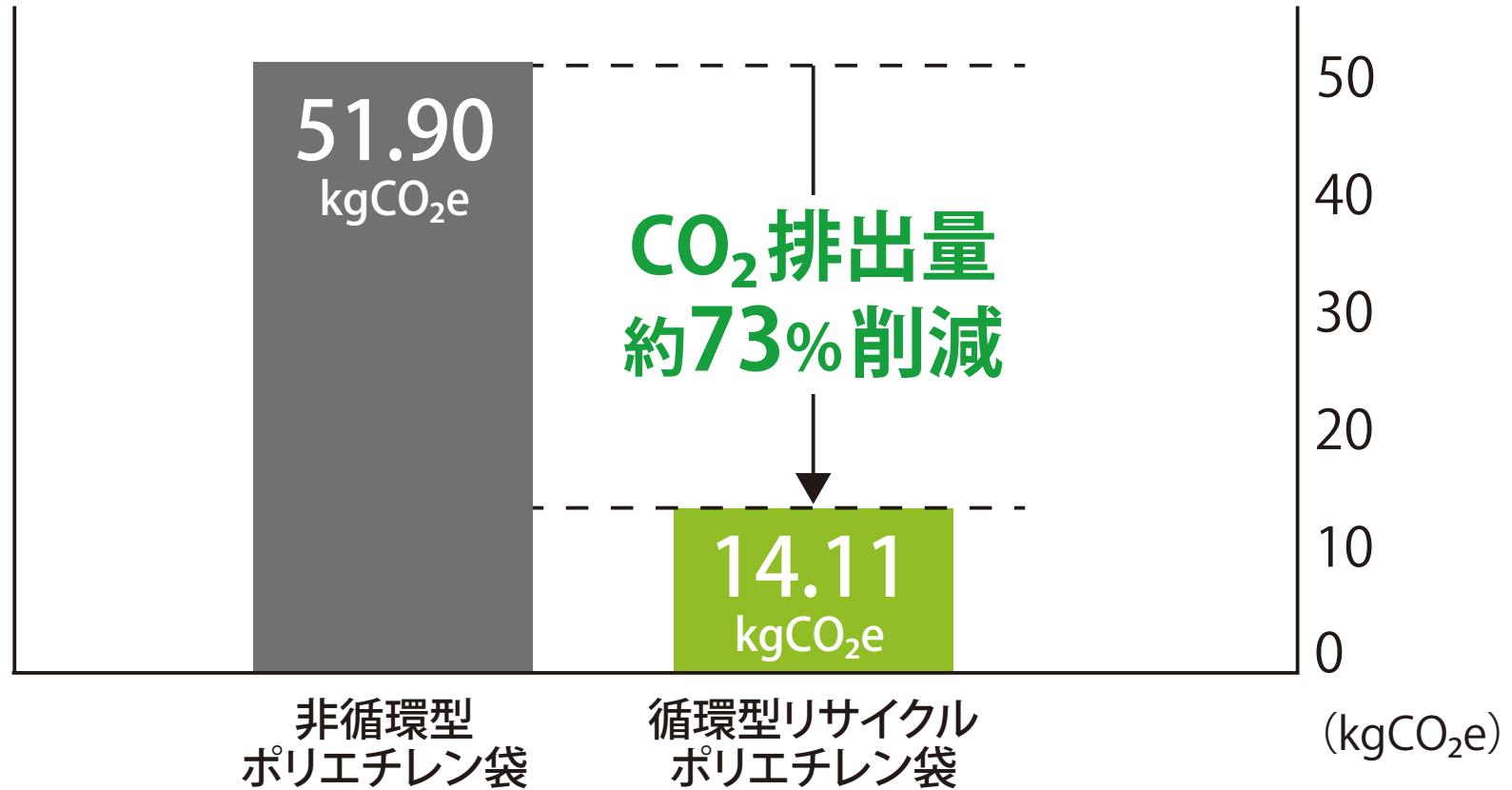
### 算定結果

### 「非循環型」と「循環型リサイクル」のCO<sub>2</sub>排出量を各段階ごとに確認



## CFP算定：5

算定結果

「非循環型」と「循環型リサイクル」CO<sub>2</sub>排出量の全体を比較CO<sub>2</sub>排出削減に大変効果的なことを確認

## インパクト

## 循環型リサイクルポリエチレン袋の利用によるメリット

- Scorp 3 におけるCO<sub>2</sub>大幅削減を実現する
- 2030年度 温室効果ガス46%削減目標に貢献する
- 環境に配慮した企業という消費者の購買基準に合わせられる
- 排出する膨大なゴミの量を削減できる

展開

WEBサイト、展示会などで販促広報を展開  
国内→中国での販路も計画中



# WEBサイトにてCFP算定報告書を公開

## 東京ビッグサイトでの展示